

2018年3月5日

三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社

豊島区役所においてペーパーレスによる課税・納税証明書 発行手続きの実験を開始
～利用者の利便性向上、職員の業務効率化を検証～

三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社（本社：東京都港区、取締役社長：牧野 友明、以下「MDIS」）と豊島区役所（本庁舎：東京都豊島区南池袋 2-45-1、区長：高野 之夫）は、区民が「特別区民税・都民税（住民税）証明書」の交付を受ける際、“専用ペン”を使用してペーパーレスで申請する実証実験を 2018 年 3 月 5 日に開始しましたので、お知らせします。

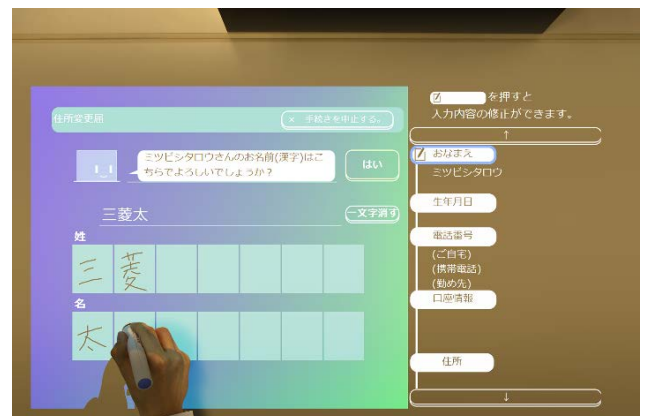
実証実験の対象となる「特別区民税・都民税（住民税）証明書交付サービス」とは、区民が課税証明書・納税証明書を申請する際に利用するサービスで、証明する年度や必要な人の名前・住所・生年月日などを申請書に記載して申請します。この申請手続きは、記入欄が多く記入箇所が分かりづらいことや、年間 3 万件以上申請のある申請書自体の管理負荷などの問題点がありました。

今回使用するシステムは MDIS が開発、販売するペーパーレス受付システム「らくかけくん」で、プロジェクターで表示された様式イメージに専用ペンで入力する「プロジェクションマッピング技術」を活用しています。

【図 1：利用イメージ】



プロジェクターで様式イメージを投影

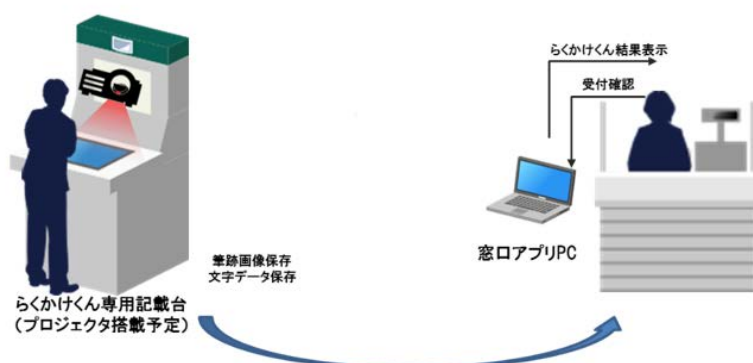


投影イメージに専用ペンで直接記入
→手書き文字認識

区役所を訪れた利用者は、窓口に設置された専用記載台にて上方のプロジェクターから投影されたイメージを見て、専用ペンにて操作します。投影イメージに直接記入することで、文字認識技術により手書き文字が瞬時に文字データへ変換されます。実証実験では日本語と中国語の二ヶ国語への対応を行います。

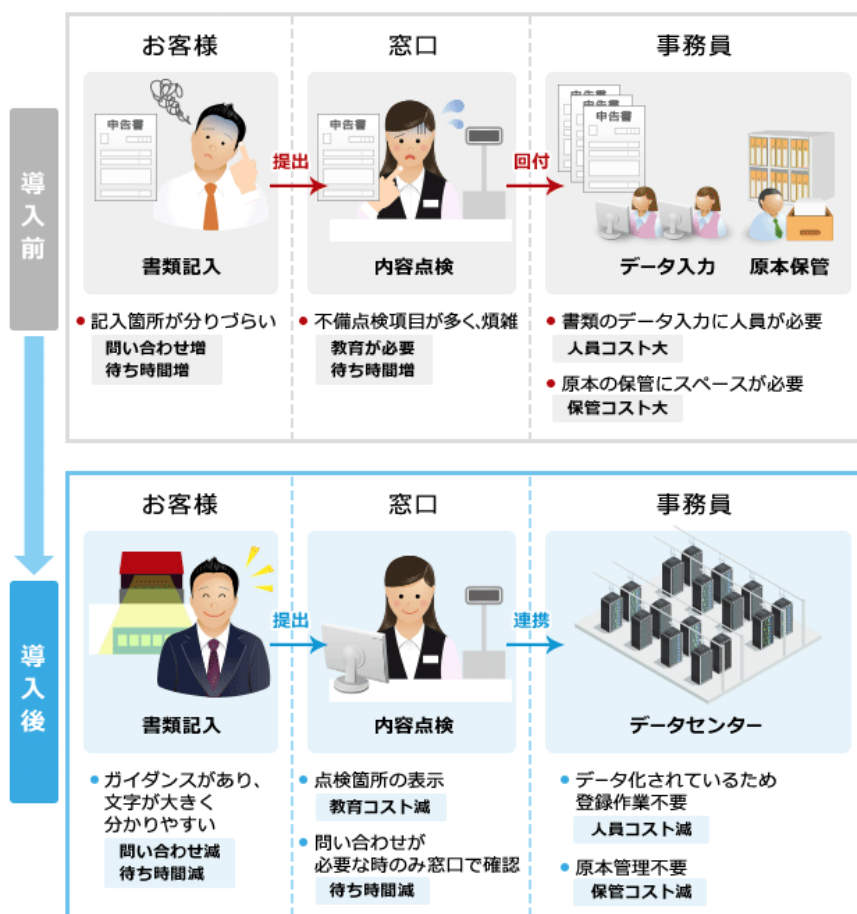
担当者は、窓口アプリで入力結果の確認や申込書の管理が可能です。

【図2：システム構成イメージ】



このシステムを用いることで、従来の紙の申請用紙やディスプレイモニターと比べプロジェクターで大きな文字で表示することができます。また、キャラクターによるガイダンスが記入箇所に応じて表示されることから、利用者の利便性向上が期待できます。一方、窓口担当者など職員にとっては、窓口での確認・問合せ対応の減少や、データ入力、申込書管理負荷の低減等、業務効率化が期待できます。さらに、紙が不要となることで、書類保管倉庫のスペース削減も可能です。

【図3】「らくかけくん」導入による効果



MDIS は今回の実証実験を評価し、「らくかけくん」のさらなる機能拡充と利便性向上を目指すとともに、自治体の申請窓口、小売店の各種申し込みカウンター、金融機関の店舗、ショッピングモールでのカード申し込みなど、様々な業界への拡販を検討していきます。

以上

(※) らくかけくんは、三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社の商標です。

【お客様からのお問い合わせ】

三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社

金融システム営業部

電話：03-5445-7353

「ペーパーレス受付システム らくかけくん」ホームページURL

<http://www.mdiss.co.jp/products/rakukakekun/>

【報道関係からのお問い合わせ】

三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社

業務課（広報担当）

電話：03-5445-7646

オフィシャルサイト URL

<http://www.mdiss.co.jp/>